

## 四天王寺悲田院保育園 研徳田

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言、まん延防止措置が長引く中で、保育園でも休園や学級閉鎖を余儀なくされる状況となりました。また、保護者の就労や家庭の状態により登園を控え通常保育が難しい中で、安心安全な環境を整え、子どもの発達の時期を逃さず経験できる保育展開に努めました。

また、こども園移行に向けて進める年となり、全体的な計画の作成、教育・保育について学びを深めるための職員研修を実施し意識付けを行いました。

今後、さらに選ばれる園となるべく、地域に密着した事業の展開を行ってまいります。

### ～事業活動報告～

#### (1) 保育 ～子どもの主体性を育む～

コロナ禍で、人との繋がりが減り、異年齢との交流が途絶える中で、子どもの育ちの過程を大切に、一人ひとりと向き合い意欲的に活動できるよう、保育内容の工夫を行いました。

院内の豊かな環境を活かし、探求心・好奇心を育て、自己を発揮できる環境づくりを継続して行い、人との関わりを通して豊かな心と感性を育ててまいります。

#### (2) 人材育成 ～キャリアアップに向けて～

- ・キャリアパスを明確にし、計画的に研修を受講し、一人ひとりの資質と専門性の向上に努めました。

- ・OJTとOFF-JTの研修を充実させ保育の環境やあり方について見直す機会を持つ事ができました。継続した取り組みを行う中で、成果を共有し、組織全体の底上げ、新人育成に尽力してまいります。

#### (3) 地域貢献 ～安心への架け橋となる～

地域の感染状況に応じて、人数制限を設けながらの活動ではあったが、安心して訪れ相談できる環境を整え、育児の孤立化を防ぐべく「利用者との繋がり」「利用者同士の繋がり」を大切に育児不安を和らげられるよう気持ちに寄り添う支援ができました。

### ～改善活動～

#### (1) こども園移行に向けて

計画的に実施し、令和4年度より認定こども園として認可を受けることができました。

教育・保育の土台づくりを行い、更なる利用者を拡充することが出来ました。また、幼稚園教諭の免許更新を計画的に進めたことで、求められる保育内容の変化や現状を知ることができました。

#### (2) 完全週休2日制の導入を行い、安定した休みの確保をすることで、心身ともにリフレッシュを行い、職員の心と体の安定を図る事ができました。